

Points of Mission!!

ミッションならではの
学校生活をご紹介します。



クリスマスや花の日礼拝など、キリスト教学校ならではの行事や、生徒が主体的に取り組む、運営する行事が多い。それらを通して互いに認め合い、思いやる心を育んでいる。



推薦制度を利用して進学を決めた高校3年生が、進学予定の学科に関連したレポートをまとめ、在校生に発表する「レポート発表会」。進学に向けて、より学問への興味関心を持たせる狙いがある。

毎週の「学級通信」に込めた 生徒への思い

私たち教員は、大学入試が変わるという表面的な事実だけにとらわれる

ことなく、何を目的とした教育改革なのかを十分理解したうえで生徒と関わっていく必要があります。国の動きを見てみると、私たちが以前から掲げている方針とシンクロする部分も多いというのが私の率直な感想です。例えば、本校は知識・技能の習得だけではなく、自分の考えをまとめアウトプットしていくことをレポート発表会などの活動を通して行ってきました。またキリスト教教育を通して生徒たちの人間性を涵養してきました。このようにミッションだからこそできることを大切にしながら、より充実した教育が行えるよう、本校でも様々な取り組みをしているところです。

心を培い、それを通して自分の存在意義に気づいていきます。国際的にも日本の子どもたちは、自己肯定感や主体的な態度、社会参画の意識が低いという調査結果があります。しかし本校の生徒たちは様々な体験を通して、社会に対して自分は何なことができる、友人のためにはこんなことできる、という自信を持ち、自己肯定感を高めていくのです。そして、中学・高校の多感な6年間に多くのものに出会い感動し、ときには困難にぶつかること、自分の人生の使命(ミッション)を見出し、自分自身に、自ら新しい課題に取り組み、解決していける創造的な力が求められます。そんな時代にあっても、一人ひとりが自分の可能性を見つけ、伸ばし、生き生きとした豊かな人生を送っていけるよう全力でサポートしています。

「生きる力」 ミッションならではの

私は現在、中学校の教頭職を務めながら、高校にも携わっていますので、教育活動も中学・高校の長いスパンで見えています。その一例が高校の担任を受け持っていた時代から続けている「学級通信」の発行です。テーマは時事的なものから人生観のことまで幅広く扱い、生徒たちも気軽に読んでくれました。今年からは中学生に向けて「中学校通信」を発行していますが、彼らは素直に疑問や自分の意見をぶつけてくれますので、私もその考えの豊かさに驚きます。こうした小さな取り組みからも、生徒たちは私たちの思いをしっかりと受け取ってくれます。本校の教員は個性豊かです。それぞれが工夫して、このように生徒たちのよりよい人生の実現のための種をまいています。

ことなく、何を目的とした教育改革なのかを十分理解したうえで生徒と関わっていく必要があります。国の動きを見てみると、私たちが以前から掲げている方針とシンクロする部分も多いというのが私の率直な感想です。例えば、本校は知識・技能の習得だけではなく、自分の考えをまとめアウトプットしていくことをレポート発表会などの活動を通して行ってきました。またキリスト教教育を通して生徒たちの人間性を涵養してきました。このようにミッションだからこそできることを大切にしながら、より充実した教育が行えるよう、本校でも様々な取り組みをしているところです。

コース紹介

特別進学コース
難関国公立大学への進学を目指して

確かなサポート体制で、**推薦入試はもちろん、センター試験を含む一般入試にも対応できるハイレベルなコース。**同志社大学への特別推薦や有名私立大学の指定校推薦も充実しており、多様化する入学試験制度に対応しています。

総合進学コース*
主に推薦を利用した多彩な進路に対応

主に推薦入試で4年制大学を目指すコース。**全国のおよそ130大学に約500名の推薦枠**を有し、北陸学院大学への特別推薦枠が充実しています。大学から就職まで幅広い進路の選択が可能なコースです。
*選択科目によって理系大学や看護系の学校への進学も可能です。

- 主な進路イメージ
- 難関国公立大学
 - 同志社大学
 - 関西学院大学
 - 青山学院大学
 - 明治学院大学
 - 有名私立大学
 - 私立大学
 - 短期大学
 - 専門学校
 - 北陸学院大学への特別推薦枠

なぜ北陸学院中学校・高等学校が選ばれるのか? ミッションの「教育力」



**2020年度
大学入試は大きく変わる**

2020年度から大学入試制度が大きく変わります。文部科学省は「センター試験」に代わる新しいテストの導入を発表しており、また各大学もそれぞれのアドミッション・ポリシーに基づいて、面接や小論文、グループディスカッションといった多面的な方法で入学者を選抜していくでしょう。これらは、高校教育の改革も意味し、全体で「高大接続改革」とも呼ばれています。

このような教育改革が行なわれている背景には、グローバル化や人口減少、科学技術の進歩などの大きな社会の変化があります。このような時代に生きていく中で、様々な壁に立ち向かい、乗り越えていける人間を育てるために、今回の教育改革が議論されているのです。

未知の時代に生きる子どもたちのために
私たち大人ができることを全力で
岡崎裕一

北陸学院中学校・高等学校
教頭(中学校) **岡崎 裕一**

1985年生まれ。富山県富山市出身。金沢大学教育学部情報教育専攻卒業後、2008年より理科(物理)担当の教員として北陸学院中学校・高等学校の教壇に立つ。現在は中学校の技術家庭から高校3年生の物理まで幅広く授業を受け持ちながら教頭として中学校教育全体の指揮をとる。中高合同の卓球部の顧問も務める。

「自己肯定感」を育む キリスト教教育

先ほど述べた社会変化に伴い、本校の教育方針が今後、より真価を發揮していくと感じています。本校では、キリスト教精神に基づく人格教育を行っています。生徒たちは毎朝の礼拝や学校行事、主体的なボランティア活動を通じて、他者への思いやりの

2016年度の大学入試結果から 合格実績で見る「進学力」

現役の4年制大学進学率が70%を超え、本校の進路決定における4年制大学選択の傾向が強くなってきたと感じます。また、今年度も看護・医療系への進学希望者が多く、あらゆる入試スタイルを活用し、96%の生徒が志望する進路へ歩みを進めました。

2015年度卒業生4年制大学・短期大学等合格実績 **すべて現役合格!!**

難関国立大学進学実績

●東京大学1名(2013年度) ●北海道大学1名(2015年度) ●名古屋大学1名(2016年度)

特別進学コース

国公立大学 金沢大2名(国際、保健)、名古屋大1名(文)

私立大学 北陸学院大6名(人間総合)、同志社大8名(社会、心理、スポーツ健康科、政策、生命医科、文化情報、法、経済)、関西学院大5名(教育、法、理工)、金沢医科大学1名(看護)、金沢工業大6名(環境・建築、工、情報フロンティア)、金沢星稜大5名(経済、人文)、愛知学院大1名(文)、愛知淑徳大2名(創造表現)、桜美林大1名(リベラルアーツ)、関西外国語大1名(外国語)、岐阜女子大2名(家政)、京都産業大4名(経済、理)、京都光華女子大2名(看護、健康科)、京都橘大2名(現代ビジネス、健康科)、近畿大2名(法、経営)、金城学院大1名(人間科)、金城大4名(看護、医療健康)、神戸女学院大1名(文)、神戸女子大2名(文学、看護)、國學院大1名(法)、国際基督教大1名(教養)、国立音楽大1名(音楽)、城西大2名(経営、現代政策)、上智大1名(総合グローバル)、仁愛大1名(人間生活)、聖泉大1名(看護)、聖徳大1名(児童)、玉川大2名(観光、芸術)、多摩美術大1名(美術)、千葉工業大1名(創造工)、帝京大1名(薬)、東京女子医大1名(看護)、東京女子大1名(現代教養)、東京農業大1名(地域環境科)、同志社女子大2名(看護)、東洋大1名(経済)、名古屋学院大2名(リハビリテーション、国際文化)、新潟青陵大学1名(福祉心理)、日本映画大1名(映画)、日本大1名(法)、フェリス学院大1名(文学)、佛教大1名(教育)、法政大1名(法)、北陸大4名(薬学、人文、未来創造)、北海道医療大1名(歯)、武庫川女子大9名(文、薬、看護、生活環境)、武蔵大1名(人文)、明治学院大3名(経済、社会、心理)、桃山学院大1名(法)、立命館大3名(法)、龍谷大1名(国際)、

短期大学 北陸学院大学短期大学部3名、青山学院女子短期大学2名、金沢星稜大学女子短期大学部1名

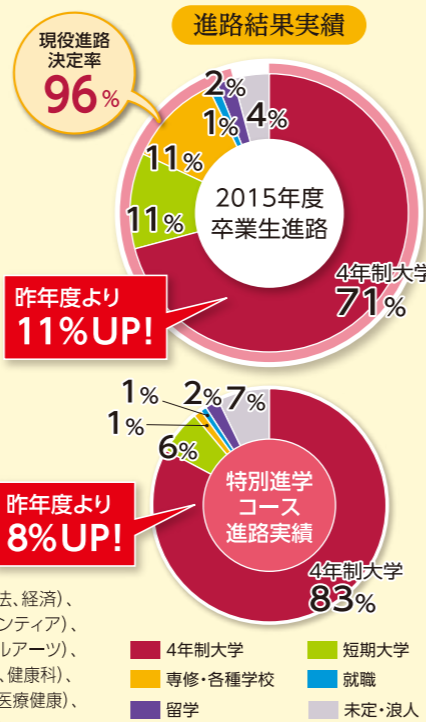
総合進学コース

国公立大学 富山大1名(経済)

私立大学 北陸学院大13名(人間総合)、同志社大1名(商)、青山学院大1名(地球社会共生)、追手門学院大4名(国際教養)、大阪学院大2名(経済、外国語)、大阪芸術大1名(芸術)、大阪国際大1名(国際教養)、活水大1名(健康生活)、金沢学院大4名(経営情報)、金沢工業大11名(工学、環境・建築、情報フロンティア、バイオ・化学)、金沢星稜大5名(経済、人間)、関西大1名(政策創造)、関東学院大2名(経済、法)、岐阜女子大1名(家政)、京都産業大2名(外国語)、金城学院大2名(国際情報、生活環境)、金城大3名(看護)、甲南女子大1名(人間科)、神戸松蔭女子学院大2名(人間科)、相模女子大1名(人間社会)、淑徳大1名(コミュニティ政策)、中部大1名(経営情報)、帝京大2名(経済、外国語)、東海大1名(体育)、同志社女子大1名(表象文化)、東洋英和女学院大1名(国際社会)、名古屋外国語大1名(現代国際学)、名古屋学院大3名(スポーツ健康、現代社会)、新潟医療福祉大1名(医療技術)、日本大1名(理工)、フェリス学院大1名(文)、福井工業大1名(スポーツ健康科)、北陸大5名(未来創造)、明治学院大2名(社会、経済)、桃山学院大1名(法)、森ノ宮医療大1名(保健医療)、四日市大2名(総合政策)、立命館大1名(経済)

短期大学 北陸学院大学短期大学部15名、金沢星稜大学女子短期大学部2名、共立女子短期大学1名、富山福祉短期大学2名、武庫川女子短期大学2名

参考：過年度生の合格実績(2016年度) 金沢工業大(バイオ・化)、富山大(経済)、杏林大(外国語)、帝京大(法)、東京理科大(理)、東洋大(理工)、日本大(商)、名城大(法)



なぜ北陸学院高等学校が選ばれるのか? ミッションの「教育力」



「勉強プラスもうひとつ」で
人間的な成長を

本校では、キリスト教に基づいた「勉強プラスもうひとつ」を教育方針として徹底しています。特別進学コースと総合進学コースのどちらの生徒も、勉強とそれぞれの「もうひとつ」を両立して充実した学校生活を過ごし、大きな成長を遂げています。「もうひとつ」は部活動や生徒会、習い事などさまざまですが、自分の未来の実現に向けて進む人間力を養っています。



同志社大学
※推薦枠は今後変更になる場合があります。詳細は本校までお問い合わせください。

指定校推薦枠の豊富さ

「キリスト教学校教育同盟加盟校」に加入している大学へ優先して推薦できる特有の制度があります。同志社大に14名、関西学院大に16名、青山学院大に13名、明治学院大に5名の特別推薦枠を有しており、県内でこれらの大学にもっとも近い高校と言えます。他にも、全国におよそ1300大学・約5000名の指定校推薦枠を有し、幅広い選択肢の中から将来を目指すことができます。

指定校推薦枠
約130大学
約500人



教員が一体となり取り組む
オーダーメイドの進路指導

一年次より、進路オリエンテーションや分野別進路相談会を実施し、生徒に自身の進路を意識させる進路指導を行っています。生徒の希望を尊重しながら、きめ細やかな進路指導を進め、難関大学への進学実現ができるように、教員が一丸となってサポートします。

少子化の時代の中でも、入学者数、受験者数ともに伸びているミッション。進学面でも4年制大学への進学率が大きく躍進している。選ばれ続けるミッションの教育力の理由に迫る。

学校・入試説明会と入試のお知らせ

北陸学院高等学校	
11月26日(土)	学校・入試説明会②
12月3日(土)	学校・入試説明会③
1月4日(土)	推薦入試
2月1日(水)	一般入試
北陸学院中学校	
10月22日(土)	入試問題解説会

※詳しくは、本校にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

中学生のお子様をもつ保護者の方へ

スカラシップ奨学金制度……下記成績優秀者の3年間の授業料を無償*1とします

①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者

従来	就学支援金が1倍の場合	1年目	2年目	3年目
授業料 29,000円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円	高等学校等就学支援金 -9,900円
	授業料	スカラシップ奨学金制度 -19,100円	スカラシップ奨学金制度 -19,100円	スカラシップ奨学金制度 -19,100円
		北陸学院高校スカラシップ奨学金制度を利用した場合		
		3年継続して 合計0円/月		

※1: 入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
※2: 毎月の授業料から「高等学校等就学支援金制度」の支給額を差し引いた金額です。
※3: 本制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。 合計29,000円/月 合計19,100円/月